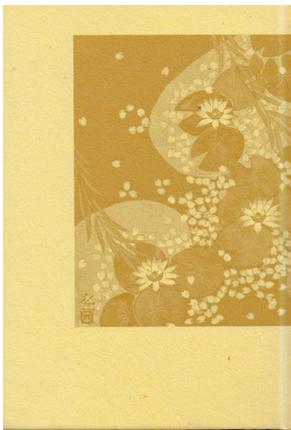


5624 **心模様：鎌倉での人生の先輩を偲ぶ** & **中山道の旅中断**

2022年（令和3年）10月、突然の別れ。

このホームページでもご紹介させていただいた、人生の先輩であるKさんの歌集「吾が軌跡」
その中の、寧日の項目に「**歌集読み酒のみ短歌つくる日々吾が最終章に短歌あり**」と。



Kさんの歌集「吾が軌跡」

このKさんの歌集の**あとがき**に、80歳を一つの区切りとして、余生を再設計中に、ある方の勧めで、イベントとして、歌集を思い立った次第である。

私は**2000年1月に、東京から鎌倉に転居**してきた。総ての役職を退任し、今まで封印していたものを解放して、鎌倉では短歌を始めようと思っていた。

そんな時「**美しい言葉を次の世代に**」というお話に、大いに共鳴して、勉強会に入会、先生にご指導を受け、文法語法などなど、一字一句教えていただいた。

一字入れ替えただけで、短歌が生き活きしてくる先生の魔術には驚くばかりだ。

私の短歌は、新カナ遣いで、新制に変わったばかりの高校で、文芸部や新聞部をやっていた。

私の海外での仕事の間に垣間見たものを、急ぎ短歌にまとめたものである。

本集は2007年に投稿を始め、この4年間、2011年11月に出版。

今後も「**心豊かに、心静かに**」短歌を作り続けて、第二歌集も、自分の手を出したい。

久楽、私の円覚寺への転居は、2年早く、**1998年（平成10年）10月1日、から十年間。**

～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

私も京都から上京。多忙だったが、庵に居る時は、自炊だが、円覚寺のある、北鎌倉駅から一駅向こうの鎌倉駅界隈へ食事のため度々。小料理屋さんや、いろいろなお店で、お目にかかり、私もビジネスマンであったことや、海外でも活動していたので、先輩のお話は、興味津々で、お目にかかるのが楽しく再三、海外の話題はじめ、幅広かった。

話が面白く、楽しく、時には、終電もなくなり、円覚寺まで、タクシーで送っていただく始末。

歌集の冒頭、軌跡には、「夏の夜に幻想のごと浮びくる仕事仕事の日々のごども」

「おでん食み爛酒飲みて盛り上がる会話暖かし宵の居酒屋」

「地球儀を廻し廻して過ぎし日の切切の時を独り想える」

ヨーロッパの断片には「まなかいにアイガー北壁迫り来て吾が存在かくも小さし」私も訪問。

「連休の旅は自在にパソコンの地図の上ゆく離れ島にも」

「マンネリの怖れ持ちつつパソコンのスイッチ入れる一日のはじめ」

私にはそれ以来のおつきあい。いろいろ教えていただいた。いい思い出は心の財産。

いい方と出会えたのが、私のラッキー。私のこれからの人生にも、先輩は、登場すると思う。

3ヶ月が経過。今、歌集を読み返し、あとがきに「余生を再設計中」とあった。

今、世相は多事多難。脚下照顧、いい機会なので、**中山道 69 次は、この辺で一区切り。**

やはり、私の**原点、キーワード**は、夢の「**世界の旅・40 カ国・ひとり旅**」を達成したこと。

中山道ママチャリ旅の次は、世界の旅・アメリカ編を。2022 年は、アメリカの中間選挙。

ニューヨークは、2019 年 1 月訪問。これまで何度も、東部ニューヨークを訪問。

今昔の記録画像も織り交ぜて発信、また、アメリカ西部周遊、シアトルからイエローストーン、南下して、メキシコ国境、ツーソン。右折して、太平洋岸へ。

ロサンゼルス、サンフランシスコを経て、シアトルから、日本へ帰国。

アメリカ**東部**と**西部**、同じアメリカ？ かと、思ったことがある。

そんなわけで、ニューヨークの画像を、無作為に、思いつくままに発信する予定。